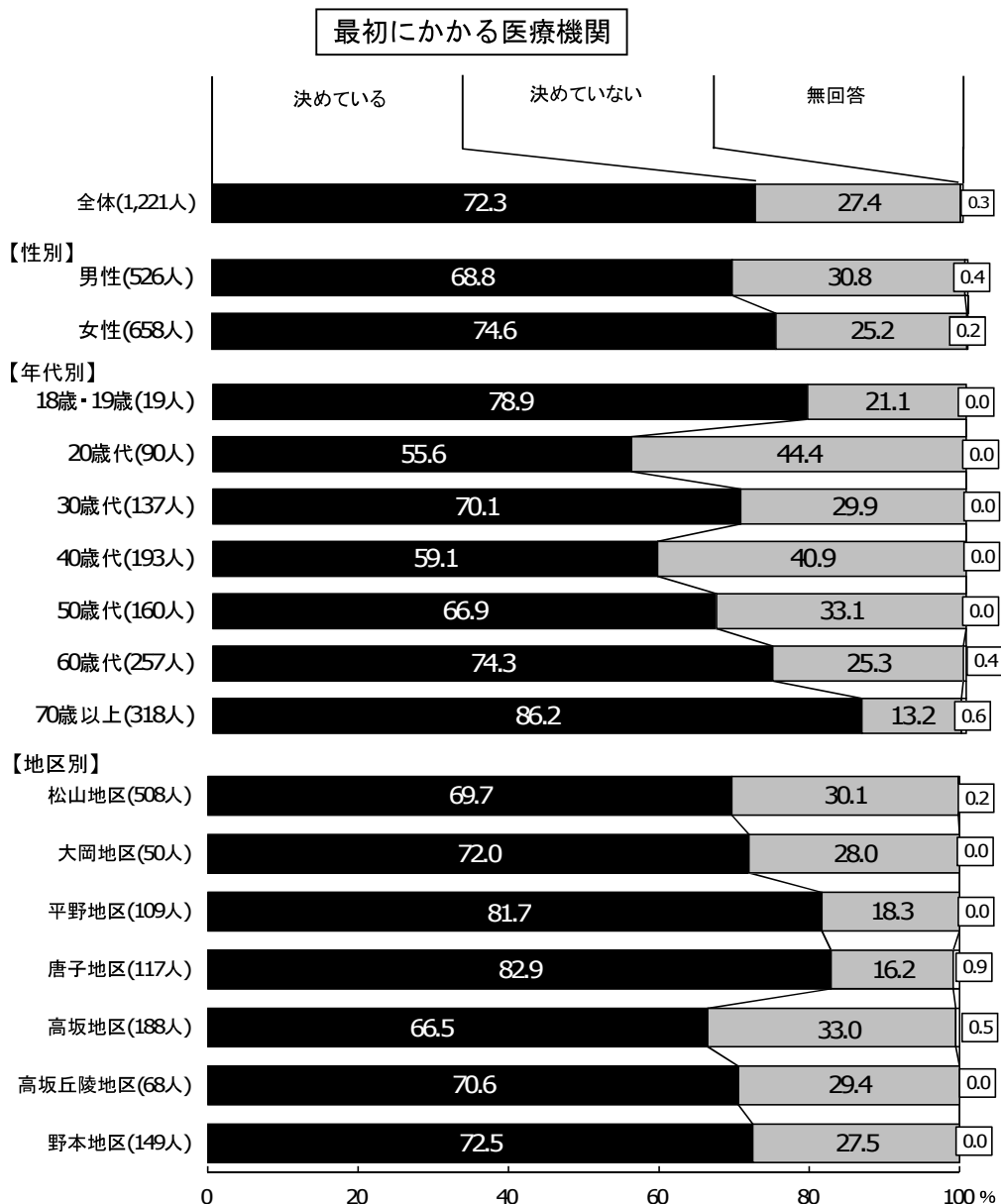


2 健康や医療・福祉について

2-1 最初にかかる医療機関

◆「決めている」72.3%◆

問5 あなたは、体の不調を感じたとき、最初にかかる医療機関を決めていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体では「決めている」(72.3%)、「決めていない」(27.4%)となっています。

性別でみると「決めている」は女性(74.6%)が男性(68.8%)を5.8ポイント上回っています。

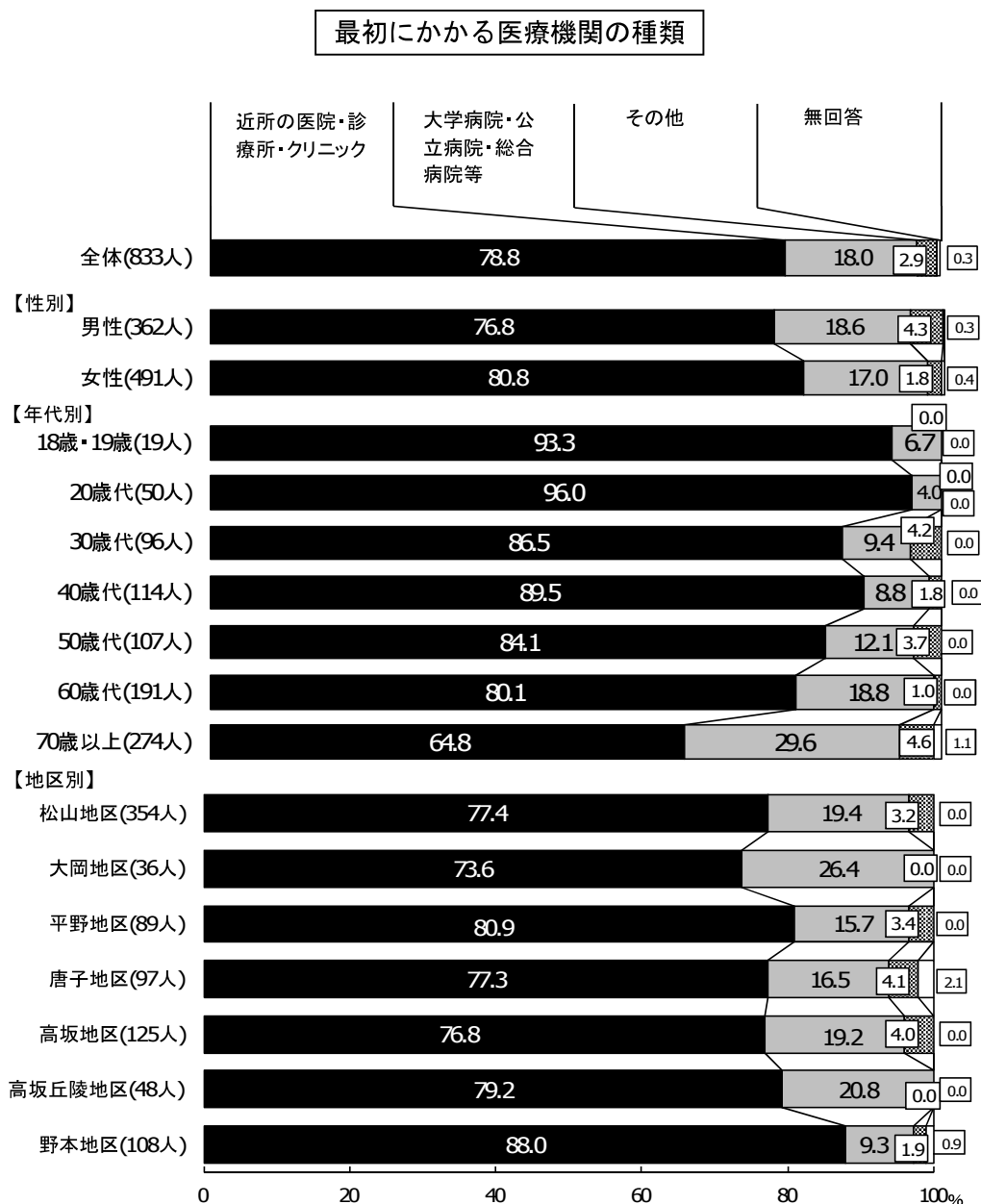
年代別でみると「決めている」は20歳代と40歳代で5割台となっていますが、その他の年代では6割以上となっています。

地区別でみると「決めている」は平野地区と唐子地区で8割を超え、大岡地区、高坂丘陵地区、野本地区でも7割台と高くなっています。

2-2 最初にかかる医療機関の種類

◆「近所の医院・診療所・クリニック」78.8%◆

(問5で「決めている」とお答えの方におたずねします)
問5-1 それは、次のどれですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



性別で見ると「近所の医院・診療所・クリニック」は女性（80.8%）が男性（76.8%）を4.0ポイント上回っています。

年代別で見るといずれの年代も「近所の医院・診療所・クリニック」が最も高くなっていますが、40歳代以上は年齢が高くなるほど「近所の医院・診療所・クリニック」の割合が低くなり、「大学病院・公立病院・総合病院等」の割合が高くなっています。

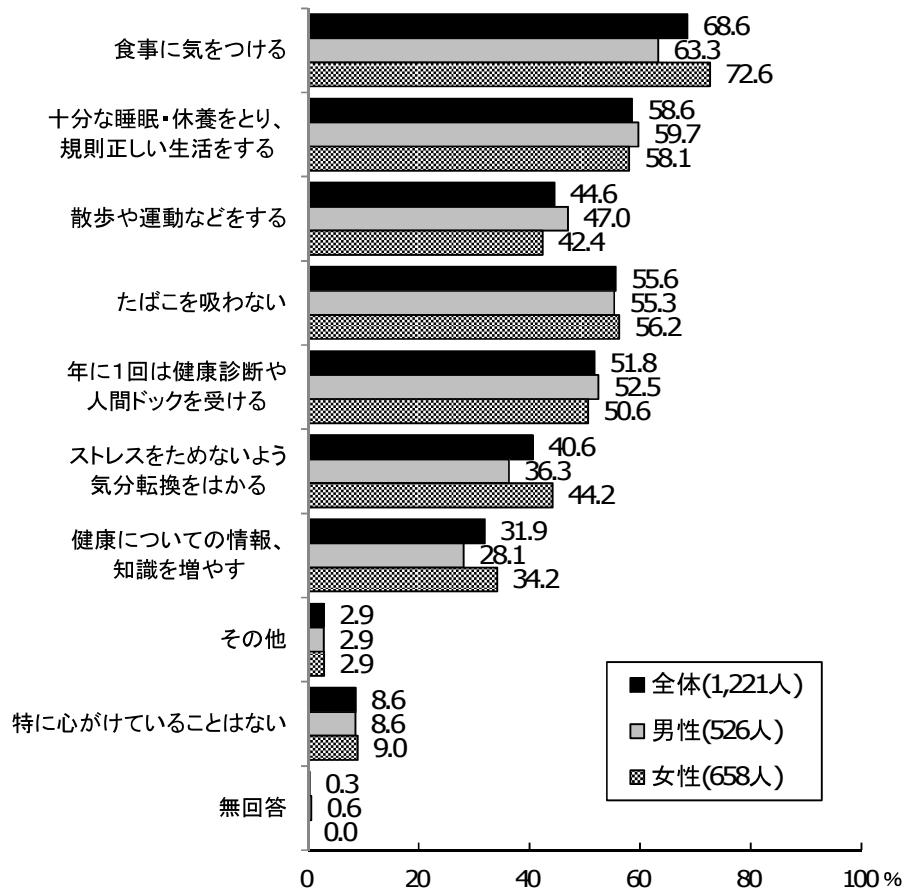
地区別で見るといずれの地区も「近所の医院・診療所・クリニック」は7割を超え、特に平野地区、野本地区では8割台となっています。

2-3 健康づくりのために心がけていること

◆「食事に気をつける」68.6%、「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」58.6%◆

問6 あなたが、自分の健康づくりのために日頃から心がけていることはどのようなことですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

健康づくりのために心がけていること（全体・性別）

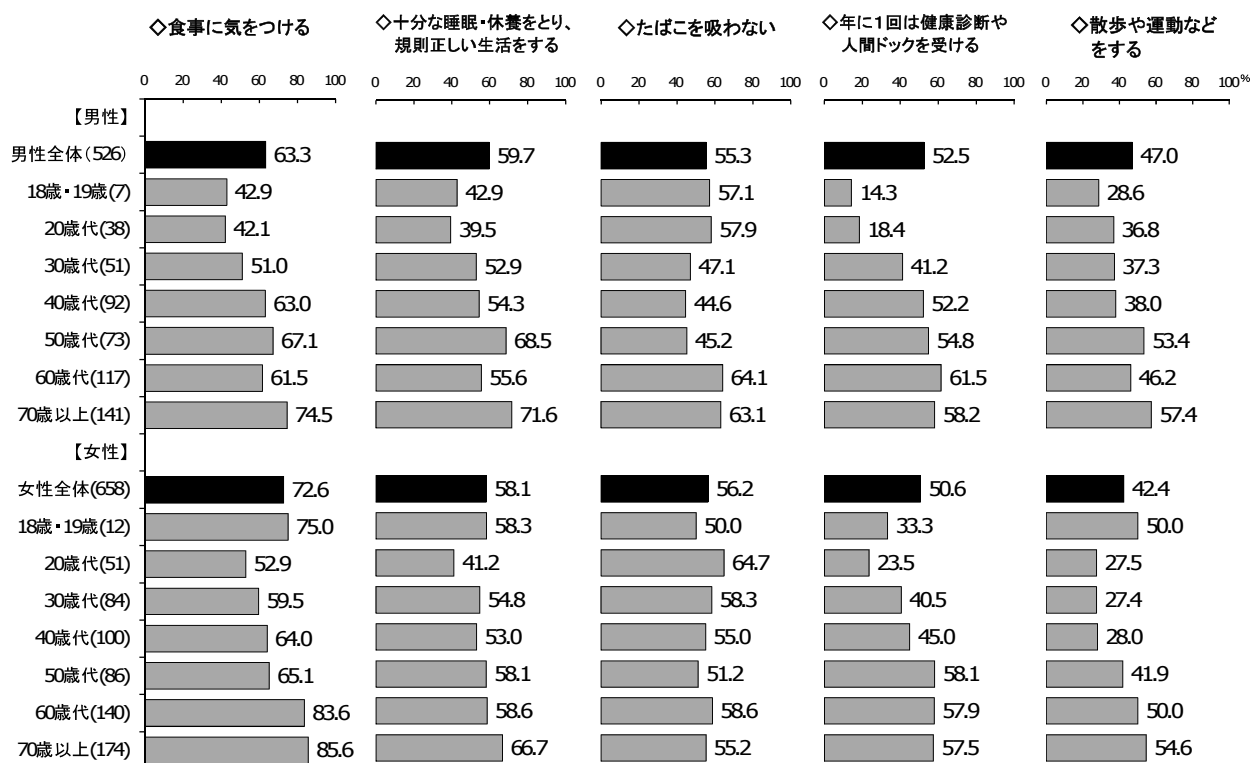


※「年に1回は健康診断や人間ドックを受ける」は、平成25年度調査までは「年に1回は健康診断を受ける」。

全体では「食事に気をつける」が68.6%で最も高く、次いで「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」(58.6%)、「たばこを吸わない」(55.6%)、「年に1回は健康診断や人間ドックを受ける」(51.8%)、「散歩や運動などをする」(44.6%)の順で続いています。

性別でみると「食事に気をつける」は女性(72.6%)が男性(63.3%)を9.3ポイント、「ストレスをためないよう気分転換をはかる」は女性(44.2%)が男性(36.3%)を7.9ポイント上回っています。

健康づくりのために心がけていること（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「食事に気をつける」は男性では40歳代以降の年代で6割以上、女性では60歳代以降の年代で8割以上となっています。

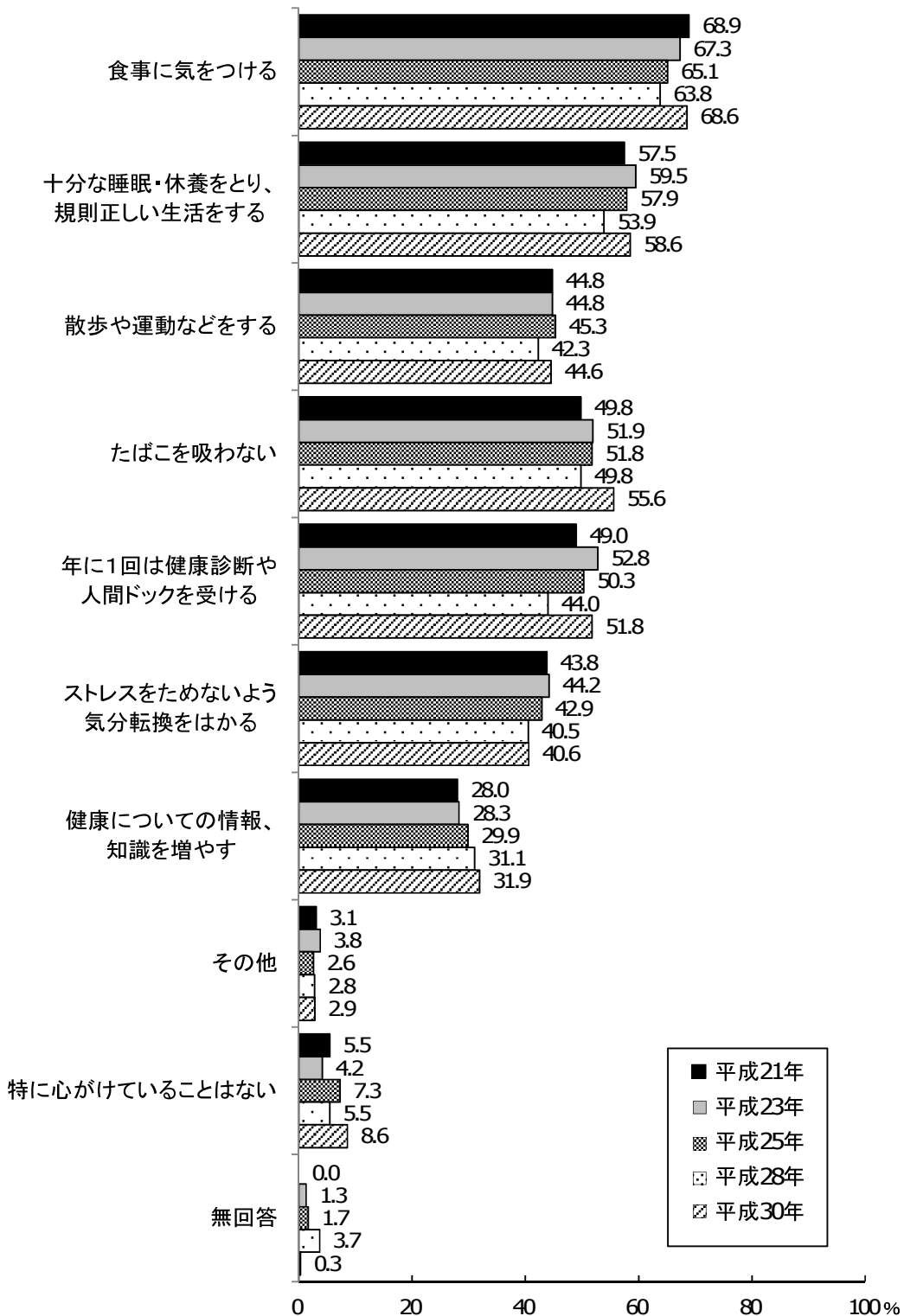
「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」は男性・女性ともにほとんどの年代で5割以上となっていますが、男性では18歳・19歳で42.9%、20歳代で39.5%、女性では20歳代で41.2%と他の年代と比べて低くなっています。

「たばこを吸わない」は、男性では60歳代で64.1%、女性では20歳代が64.7%と最も高くなっています。

「年に1回は健康診断や人間ドックを受ける」は、男性・女性とも18歳・19歳、20歳代で低く、特に男性の18歳・19歳と20歳代ではいずれも1割台、女性の20歳代が23.5%と低くなっています。

「散歩や運動などをする」は、男性の50歳代と70歳以上、女性の18歳・19歳と60歳代以降の年代で5割を超えています。

健康づくりのために心がけていること（経年比較）



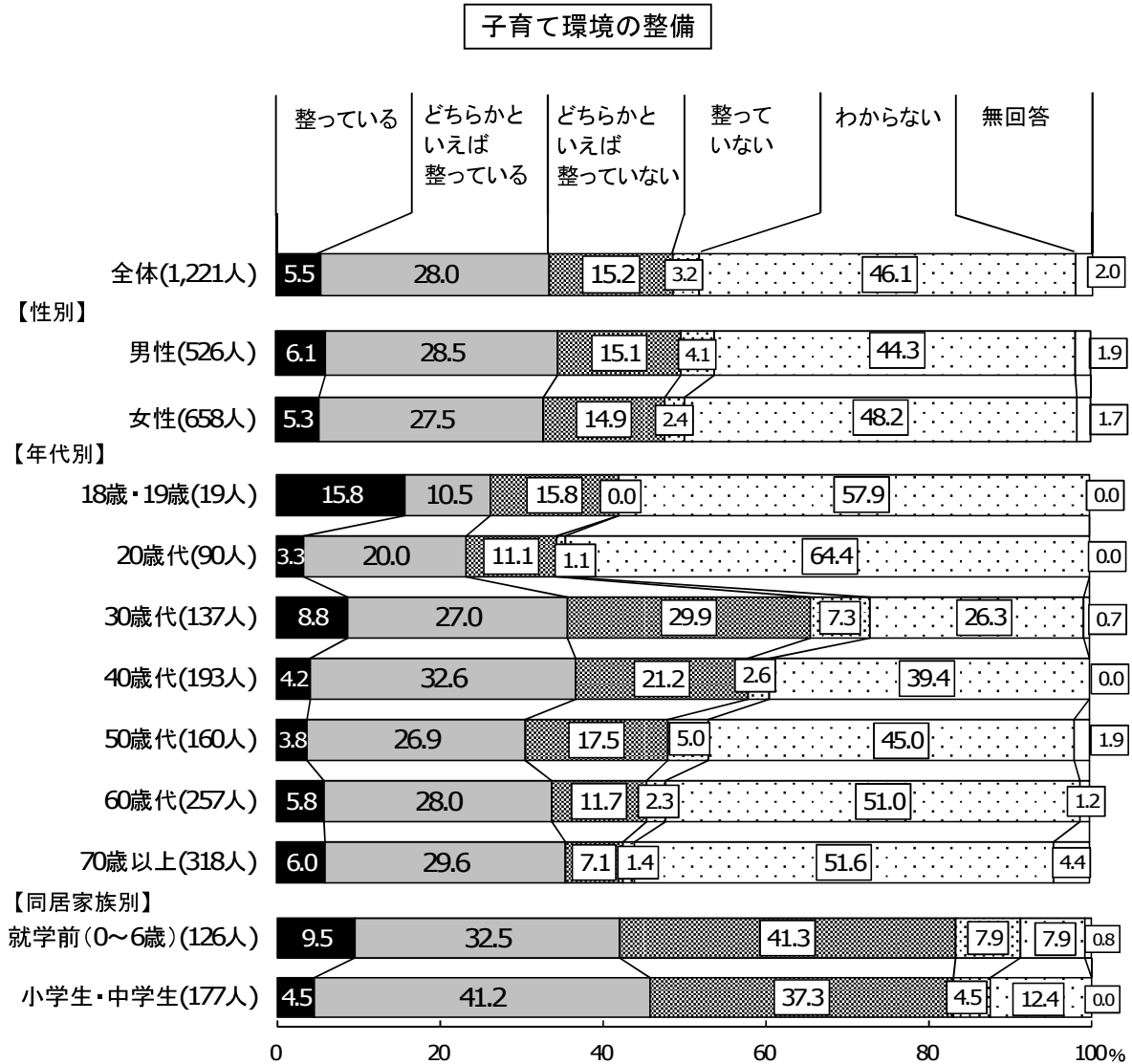
※「年に1回は健康診断や人間ドックを受ける」は、平成25年度までは「年に1回は健康診断を受ける」。

経年で比較すると、「たばこを吸わない」が55.6%で平成21年度調査以降最も高くなっています。「年に1回は健康診断や人間ドックを受ける」は51.8%で平成28年度調査と比較すると、7.8ポイント増で最も上昇しています。また、いずれの項目でも、平成28年度から健康づくりのために心がけていることが増加しています。

2-4 子育て環境の整備

◆ “子育て環境が整っている” 33.5% ◆

問7 あなたは、東松山市は子育てしやすい環境が整ったまちだと思いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体で見ると「整っている」は5.5%、「どちらかといえば整っている」は28.0%で、両者をあわせた33.5%が“子育て環境が整っている”と回答しています。また「整っていない」(3.2%)と「どちらかといえば整っていない」(15.2%)の両者をあわせた“子育て環境は整っていない”との回答は18.4%となっています。

年代別で見ると“子育て環境が整っている”は、子育て世代である40歳代で36.8%、30歳代で35.8%と高くなっています。一方で30歳代は“子育て環境は整っていない”も37.2%と高くなっています。

同居家族別のうち、子育て中の家族のいる世帯で見ると、小学生・中学生と同居では“子育て環境が整っている”(45.7%)が“子育て環境は整っていない”(41.8%)を3.9ポイント上回っていますが、就学前(0~6歳)の子と同居では“子育て環境は整っていない”(49.2%)が“子育て環境が整っている”(42.0%)を7.2ポイント上回っています。

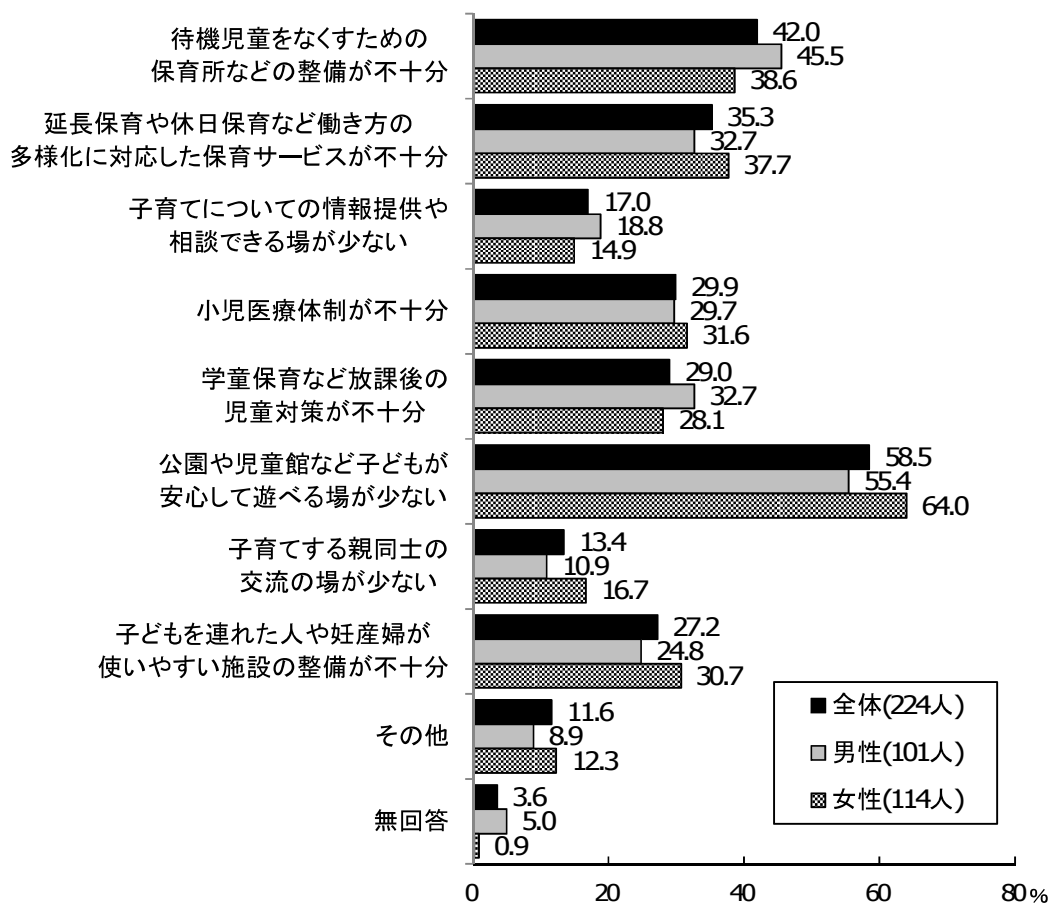
2-5 子育て環境が整っていない理由

- ◆「公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない」58.5%、「待機児童をなくすための保育所などの整備が不十分」42.0%◆

(問7で「どちらかといえば整っていない」または「整っていない」とお答えの方におたずねします)

問7-1 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

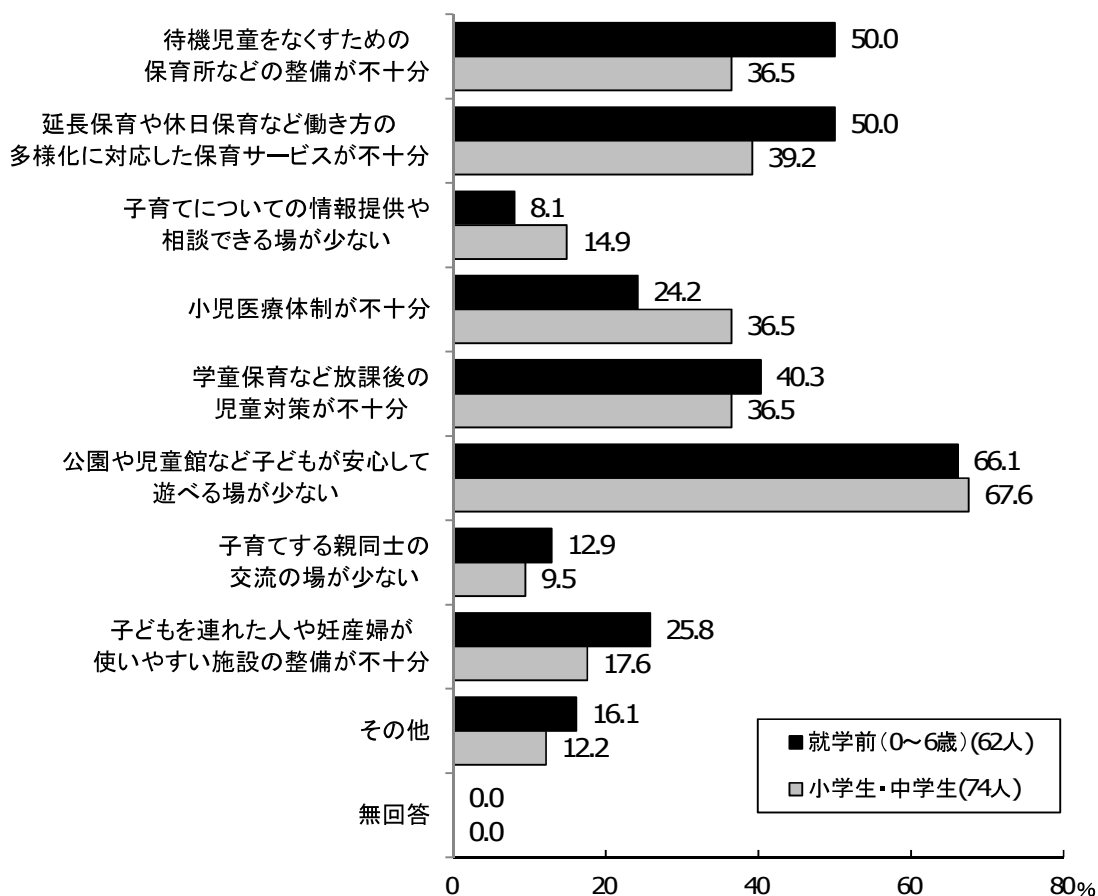
子育て環境が整っていない理由(全体・性別)



全体で見ると「公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない」が58.5%で最も高く、次いで「待機児童をなくすための保育所などの整備が不十分」(42.0%)などが続いています。

性別で見ると「公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない」は女性(64.0%)が男性(55.4%)を8.6ポイント、「子どもを連れて人や妊産婦が使いやすい施設の整備が不十分」は女性(30.7%)が男性(24.8%)を5.9ポイント上回っています。一方「待機児童をなくすための保育所などの整備が不十分」では男性(45.5%)が女性(38.6%)を6.9ポイント上回っています。

子育て環境が整っていない理由（同居家族別）



同居家族別のうち、子育て中の家族のいる世帯でみると、「公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない」は、就学前（0～6歳）の子と同居が66.1%、小学生・中学生と同居が67.6%とそれぞれ最も高くなっています。

次いで就学前（0～6歳）の子と同居では「待機児童をなくすための保育所などの整備が不十分」と「延長保育や休日保育など働き方の多様化に対応した保育サービスが不十分」がともに50.0%、「学童保育など放課後の児童対策が不十分」（40.3%）と続いています。

小学生・中学生と同居では「延長保育や休日保育など働き方の多様化に対応した保育サービスが不十分」（39.2%）、「待機児童をなくすための保育所などの整備が不十分」「小児医療体制が不十分」「学童保育など放課後の児童対策が不十分」がそれぞれ36.5%と続いています。